

Title	2015年度『学会賞』選考結果
Sub Title	Award
Author	岸田, 和明(Kishida, Kazuaki)
Publisher	三田図書館・情報学会
Publication year	2015
Jtitle	Library and information science No.74 (2015. ) ,p.72- 72
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000074-0072">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000074-0072</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2015 年度『学会賞』選考結果

学会賞選考委員会委員長

岸 田 和 明

三田図書館・情報学会学会賞は、会誌である Library and Information Science に掲載された優れた論文の著者に与えられる賞です。本年度は 72 号と 73 号に掲載された原著論文 5 編を対象に厳正な審査を行った結果、以下の論文を学会賞として選考いたしました。

松谷有美子

朝河貫一によるイェール大学図書館および米国議会図書館のための日本資料の収集  
Library and Information Science, no. 72, p. 1-35.

本論文は、著名な歴史学者である朝河貫一（1873-1948）が、イェール大学図書館および米国議会図書館における日本資料のコレクション構築に携わった経緯や過程を整理し、その結果としてのコレクションを調査・分析したものである。一般に、朝河貫一に関する文献は数多く、日露戦争から昭和にかけての激動期に米国で活躍した日本史研究者として、さまざまな角度からの論考が試みられている。それらに対して、本研究は、特に、両図書館での日本資料の収集に朝河が果たした役割に焦点を絞り込み、各種の歴史的資料や目録類を駆使して、その実態に光を当てた意欲的な試みとして捉えることができる。

具体的には、筆者はこのために、既存の先行研究はもちろん、朝河に関連する書簡類や図書館長年次報告を丹念に読み込み、コレクション構築に関わった経緯や、その収集過程を丁寧にまとめている。それに加え、両図書館を実際に訪れて朝河が収集した資料の現物を確認し、それに残された朝河自身の書き入れ等から、収集にあたっての考え方や思想を推察するとともに、目録に基づいてそれらの資料を分類し、量的な側面からも、その特徴を把握しようと試みている。この種の量的な分析は、表層的な傾向の析出に留まらざるを得ないとはいえ、一つの貴重な事実を伝えており、本論文の論考に厚みをもたらしている。

以上のように本論文は、朝河貫一による資料収集を総合的かつ多角的に明らかにした貴重な研究成果の報告であり、米国における日本資料コレクションの成立経緯の解明に貢献するだけでなく、朝河貫一という著名な学者の側面についての新たな知見をもたらしたという点で高く評価できる。よって、三田図書館・情報学会賞の授賞に値すると判断した。